

地域保健

1
2021

●特集1

健康危機管理能力を高める

—新型コロナ対策を中心に

●特集2

コロナ禍とメンタルヘルス

—コロナうつを中心に





イラストレーター・スズキトモコ

寒さに強い牛のように、一歩ずつゆっくり歩んでいきたい2021年、よい年になりますように。

<http://www.tomo-com.com>

6

【特集1】

健康危機管理能力を高める —新型コロナ対策を中心に

8 【オンライン座談会】地域の健康危機管理能力を高める—保健所、保健師の課題から見えてくるもの

- ◎出席者 ◎中板育美さん (武蔵野大学看護学部) = 司会
◎内田勝彦さん (全国保健所長会、大分県東部保健所)
◎清田啓子さん (全国保健師長会、北九州市子ども家庭局子ども家庭部)
◎二宮博文さん (港区みなと保健所)

22 日本版 CDC の必要性 岡部信彦 (川崎市健康安全研究所)

26 新型インフルエンザ等対策特別措置法の課題 齋藤智也 (国立保健医療科学院)

30

【特集2】

コロナ禍とメンタルヘルス —コロナうつを中心に

32 「コロナうつ・コロナ不安」を防ぐ 影山隆之 (大分県立看護科学大学)

36 コロナ下のメンタルヘルスと支援者支援
大塚耕太郎、赤平美津子、三條克巳 (岩手医科大学医学部)

40 コロナ禍における地域の自殺対策
本橋 豊、木津喜 雅、吉野さやか (いのち支える自殺対策推進センター)

44 長野モデルにおける産後うつ支援とコロナ禍での母子支援活動
長野市保健所健康課母子保健担当

48 市民の心を支える保健センターの存在 高岡恵津子 (香芝市保健センター)

2 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 竹下明里さん (佐世保市子ども未来部子ども保健課)

56 イベント開催報告▶「保健師とつながろう課」発足記念 オンライン交流会

68 ピープル▶ 門川良平さん (すなばコーポレーション株式会社代表取締役社長)

72 レポート1▶ 第79回日本公衆衛生学会総会

76 レポート2▶ 全国男性保健師の集い2020 @愛知

78 ニュース

90 情報BOX

96 次号予告/奥付

連載

52 [新連載] 保健師に求められる LGBTQ の知識と支援の在り方
〈第1回〉/日高庸晴

54 [新連載] 保健師のストレスケアに生かすパッチフラワー
〈第1回〉/八木知美

58 ゲーム障害とスマホ依存—地域保健にできること
〈第5回〉/磯村 毅

60 虐待予防は母子保健から〈第11回〉/鷲山拓男

66 ESSAY 国際保健〈第41回〉/松田正己

82 保健師のための関話ケア〈第92回〉/藤本裕明

86 中臣さんの環境衛生ウオッチング〈第77回〉/中臣昌広

ひよこ

ホップ★ステップ★ジャンプ!



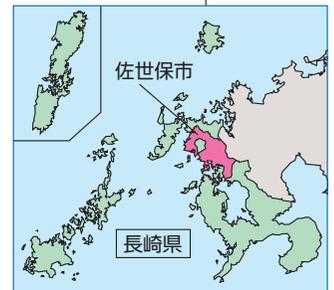
職場から徒歩5分。長いアーケードで知られる三ヶ町商店街の中に子ども発達センターがあり、利用しやすい便利な場所で市民にも親しまれているという

竹下明里さん

● 佐世保市 子ども未来部 子ども保健課

たけした・あかり

住民に寄り添う支援を心がけ、
誰からでも安心して頼ってもらえる
保健師になりたい



長崎県佐世保市は、多彩な顔を持つ都市だ。かつては軍港の町として発展し、現在でも海上自衛隊や米海軍の基地が所在している。その一方で、湾に無数の島が散りばめられている九十九島の美しい景観や、アミューズメントパークのハウステンボスは観光地としても人気が高い。そんな特色豊かな土地での保健活動について、3年目の保健師、竹下明里さんに伺った。

お祖父さんの脳梗塞をきっかけに看護師か保健師になることを目指す

佐世保市の中でも、周囲に田んぼが広がる、自然豊かな土地で生まれ育った竹下さん。小学校の授業では、田植え体験や泥んこ遊びなども取り入れられていたという。

新型コロナウイルスの感染拡大は、わが国の健康危機管理体制の脆弱性を浮き彫りにした。特に地域の健康危機管理の拠点である保健所では、コロナ対応で深刻なマンパワー不足に陥り、疲弊しているスタッフの様子がたびたび報道された。多くの保健所では業務の外注や都道府県からの人的支援などでしのいでいるが、既に第3波も発生し、状況は予断を許さない。保健所の危機を招いた背景には、長年にわたる感染症に対する危機意識の低下や市町村への権限移譲による保健所統廃合などがあるが、現場では国の制度改正を待つわけにはいかない。

特集では、国の健康危機管理の在り方を論じるとともに、座談会で地域における健康危機管理能力を高める方策を考える。

健康危機管理能力 を高める

新型コロナ対策を中心に



P8 【オンライン座談会】 地域の健康危機管理能力を高める —保健所、保健師の課題から見えてくるもの

(出席者)

◎中板育美さん
(武蔵野大学看護学部)
=司会



◎清田啓子さん
(全国保健師長会、北
九州市子ども家庭局子
ども家庭部)



◎内田勝彦さん
(全国保健所長会、
大分県東部保健所)



◎二宮博文さん
(港区みなと保健所)



P22 日本版 CDC の必要性 ◎岡部信彦 (川崎市健康安全研究所)

P26 新型インフルエンザ等対策特別措置法の課題 ◎齋藤智也 (国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

コロナ禍とメンタルヘルス

コロナうつを中心に



新型コロナウイルスの感染拡大が続く
中、「コロナうつ」(*)が増え、自殺者
数の増加もみられる。背景には倒産や失
業などの経済的要因のほか、平時にはさ
まざまな支援でようやく心のバランスを
保っていた人たちが、三密を避けるなど
の新しい生活様式の実践で支援が届かな
くなり、孤立を深めてしまうなどの事情
がある。コロナ禍に端を発するメンタル
ヘルスの問題に対して、行政としてはど
のような打開策があるのだろうか。

※「コロナうつ」は医学用語ではなくマスコミ用語

P32 「コロナうつ・コロナ不安」を防ぐ
◎影山隆之 (大分県立看護科学大学)

P36 コロナ下のメンタルヘルスと支援者支援
◎大塚耕太郎、赤平美津子、三條克巳 (岩手医科大学医学部)

P40 コロナ禍における地域の自殺対策
◎本橋 豊、木津喜 雅、吉野さやか (いのち支える自殺対策推進センター)

P44 長野モデルにおける産後うつ支援とコロナ禍での母子支援活動
◎長野市保健所健康課母子保健担当

P48 市民の心を支える保健センターの存在
◎高岡恵津子 (香芝市保健センター)

門川良平

さん

●すなばコーポレーション株式会社
代表取締役社長

楽しむことで興味関心は動き出す 子どもも大人も主体的に学ぶ仕掛けは同じ

通信講座の教材開発やマーケティングに関わったスキル、小学校教員として子どもたちと関わった実績を生かしてSDGs（持続可能な開発目標）を楽しく学ぶカードゲーム「ゲット・ザ・ポイント」を開発。難しいことを子どもたちにも伝えるかに心を砕き、ゲームや漫画で「楽しみながら体験的に学ぶ」ことで主体的な学びに変える。自治体とのコラボレーションも増えている、すなばコーポレーションの門川さんにお話を伺った。

●取材文……太田美由紀（ライター）

民間企業に10年勤務後 教職をとり小学校教員へ

「勉強を進んでやらない子どもたちに、どうすれば楽しく学んでもらえるか、どうすれば振り向いてもらえるかをずっと考えてきました。ゲームを学習に取り入れるとしても効果的だということはずっと感じていたんです。ゲームは自分がプレイヤーになって展開する構造を持つので受け身ではられない。必然的に主体的にならざるを

得ません。自然に楽しみながら能動的に考え、行動し、試行錯誤することができるところに大きな可能性を感じています」

門川さんが教育に興味を持ったきっかけは学生時代、ゼミで教育法を選び不登校支援のフリースクールにボランティアとして飛び込んだことだった。

「そこで出会った子どもたちは、学校には行けなくても、自由闊達に話をするし、学習意欲もある子もいました。そういう子どもたちが何をきっかけに学校に行かなく

なっただらうと疑問に思いました」

学生時代は法学部。教員免許も取得しておらず心理学系の大学院進学も検討していたが、大学卒業後はベネッセコーポレーションに就職。教材開発やマーケティングなどに携わった。公教育と連携して社会貢献もしているという手応えがあり面白かったが、子どもたちの課題などを理解できていいるだろうかという疑問を抱き、10年を節目として退職。通信制大学で学び教員免許を取得し東京都の小学校教員となった。

特集

児童相談所と地域の関わり

—これからの社会的養育推進に生かす保健師の視点

●座談会 児童相談所保健師の現場から

【出席者】 稲垣美登利さん（三重県中勢児童相談所）
 （五十音順） 小林幸恵さん（横須賀市児童相談所）
 杉山真澄さん（静岡県立大学）＝司会
 義永直巳さん（京都府宇治児童相談所京田辺支所）

●社会的養育推進について保健師に知ってほしいこと】

厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課

●都道府県の事例〈三重県〉 三重県での社会的養育推進の取り組み

取材先：西崎水泉さん（三重県子ども・福祉部）

●中核市の事例〈明石市〉 明石こどもセンターの取り組み

取材先：服部陽子さん／溝口和子さん（明石こどもセンター）

●市町村の事例〈三沢市〉 「キッズセンターそらいえ」を活用した取り組み

池田悦子／田鎖雅子（三沢市福祉部）

●市町村の事例〈涌谷町〉 思いをひとつに「みんなで育てようわくやっ子」

木村智香子（涌谷町子育て支援室）

●特別区の事例〈江戸川区〉 江戸川区児童相談所はあとポートの取り組み

森岡喜久枝／吉田靖代（東京都江戸川区児童相談所）

●特別養子縁組の民間との協働に

森崎智恵子（一般社団法人ベアホープ）

●フランスの児童虐待予防・社会的養育事情

安發明子（フランス在住ライター）

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 竹原真梨奈さん、利田侑理さん（射水市保健センター）

ピープル 下 茉莉さん（かもみいる 代表）

●研究報告 “マルチリ予防” と “とも育て” を学ぼう・広めよう

—養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築—

榊原信子（福井大学子どものこころの発達研究センター）

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健

令和3年 1月号

令和3年1月1日発行／隔月（奇数月）1回1日発行
 発行人 菅 国典
 制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22
 株式会社 東京法規出版
 振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】 TEL 03-5977-0300

FAX 03-5977-0385

ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】 TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン=新海妙子
 ◎印刷・製本=(株)上野印刷所
 ◎編集長=須賀健次
 ◎編集員=松岡康子

本誌に掲載された著作物の
 複写・転載等の許諾権は、
 株式会社東京法規出版が保
 有しています。

バックナンバー紹介

2019年9月号

特集「性暴力被害者支援 ―現状と課題」

これまであまり深く語られることがなかった性暴力の被害者支援について、トラウマケア、感染症や妊娠・出産、児童虐待、DVなど、保健師が深く関わる部分を中心に取り上げる。

2019年11月号

特集「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けて」

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の全体像とともに、通いの場、国保データベース、フレイルの概念などのトピックを解説。自治体や後期高齢者医療広域連合の好事例も紹介する。座談会では一体的実施における保健師の役割を中心に考える。

2020年1月号

新春座談会「保健師の業務を効果的・効率的に進める ―統括保健師は何をすべきか」

保健師の業務を効果的・効率的に進めるために、行政経営の視点などを参考に、統括保健師の果たすべき役割を考える。

特集「子どもの自殺を防ぐ―10代を中心に」

全体の自殺者数が減る中で10代は横ばいもしくは増えている。その実態と対策。

2020年3月号

特集「認知症施策推進大綱で保健師の地域活動はどう変わる？」

共生と予防を車の両輪とする「認知症施策推進大綱」。座談会や事例などを通して、大綱が保健師の役割にどんな影響があるのか読み解いていく。

特別座談会「厚生労働省での学びを地域に ―気づき、抱負、今後のビジョン」

全国の自治体から出向や研修派遣で厚生労働省に来ている保健師たちが集い、仕事のやりがいや新しく学んだことなどを自由に語り合う。

2020年5月号

特集「健康経営を地域と企業のコラボレーションで」

健康経営とは従業員の健康管理を経営的な視点から戦略的に実践すること。健康経営の本質を考え、地域・職域連携による健康経営の具体的な姿を探っていく。

2020年7月号

特集「どこからが体罰か

―体罰等によらない子育て推進における母子保健の役割」

「体罰等によらない子育て推進」ガイドラインの解説、逆境的小児期体験の心身への影響、虐待予防最前線として母子保健に期待される役割などをまとめる。

2020年9月号

特集「コロナ時代の災害支援」

近年多発する地震、豪雨などの自然災害時におけるコロナ対策のあり方についてまとめる。

座談会「コロナ時代の保健活動

―ウイルスと共存する社会の健康づくり」

ソーシャルディスタンスを保つなど、新しい生活様式を定着させる中で、住民の健康を守る保健師の活動を継続する方法などについて話し合う。

2020年11月号

特集「コロナで進化・加速するオンライン&デジタル保健」

コロナ時代にあらゆる分野でオンライン化、デジタル化が推進されつつある。地域保健領域におけるこれらの潮流を概観する。

お申し込みは

(株)東京法規出版 地域保健編集部
FAX: 03-5977-0385

※バックナンバーの価格

(2016年3月号まで) 857円 + 税 + 送料 154円

(2016年5月号から) 1,370円 + 税 + 送料 154円

『地域保健』購読のご案内

- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
 - B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）
 - 価格 1冊あたり 1,370円 + 税、送料154円
年間購読 《公費前納および個人》8,137円（税込、送料弊社負担）
年間購読 《公費後納》9,042円（税込、送料弊社負担）
- ※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

災害後も健やかな人生を送るための避難所づくりの要点がわかる！
避難所運営にかかわる自治体関係者、ボランティア団体、すべての人に役立つ必携本

いのちと健康を守る 避難所づくりに活かす 18の視点



好評発売中！

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 ガイドライン | 10 段ボールベッド |
| 2 トイレ | 11 布団干し |
| 3 衛生 | 12 寒冷期 |
| 4 肺炎 | 13 人間関係 |
| 5 母子 | 14 食事 |
| 6 福祉避難所 | 15 集約と移動 |
| 7 エコノミークラス症候群 | 16 在宅被災者 |
| 8 弾性ストックキング | 17 生活再建と法制度 |
| 9 テント | 18 海外の避難所 |

監修：新潟大学医歯学系呼吸循環外科 榛沢和彦

B5判／本文96頁／モノクロ 定価：本体1,500円＋税
ISSN 2424-0826 第49巻 第3号 (別冊)

災害の巨大化の中で、
避難所のあり方が厳しく問われている。
本書は、避難環境の改善と、
被災者の自立に向けての
強いメッセージになるに違いない。

神戸大学名誉教授
室崎 益輝先生 推薦

【執筆者一覧】 (掲載順) 敬称略

- | | | | |
|-------|----------------|------------|---------------|
| 榛沢 和彦 | 新潟大学 | 浦野 愛 | レスキューストックヤード |
| 室崎 益輝 | 神戸大学名誉教授 | 根本 昌宏 | 日本赤十字北海道大学 |
| 田村 圭子 | 新潟大学 | 菅原 由美 | 東北大学 |
| 加藤 篤 | 日本トイレ研究所 | 辻 一郎 | 東北大学 |
| 中臣 昌広 | 日本環境衛生センター | 笠岡 (岡山) 宣代 | 国立健康・栄養研究所 |
| 中久木康一 | 東京医科歯科大学 | 植田 信策 | 石巻赤十字病院 |
| 吉田 穂波 | 神奈川県保健福祉局 | 山村 修 | 福井大学 |
| 奥田 博子 | 国立保健医療科学院 | 岡本 正 | 銀座パートナーズ法律事務所 |
| 山下 竜一 | 災害用弾性ストックキング協会 | 北川 慶子 | 聖徳大学 |
| 草島 進一 | オープンジャパン | 塩崎 賢明 | 立命館大学 |
| 水谷 嘉浩 | Jパックス株式会社 | 川村 匡由 | 武蔵野大学名誉教授 |